

第16回 観光戦略実行推進タスクフォース 議事要旨

1. 日時：平成29年12月19日（火）17：20～18：20

2. 場所：官邸2階小ホール

3. 出席者：

（政府側）

菅内閣官房長官、石井国土交通大臣、梶山内閣府特命担当大臣、西村内閣官房副長官、野上内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官、和泉内閣総理大臣補佐官、古谷内閣官房副長官補、平井内閣官房内閣審議官、水嶋内閣官房内閣審議官兼観光庁次長、山根内閣官房行政改革推進本部事務局次長、山崎内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長、平垣内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官、井野内閣府大臣官房総括審議官、野村宮内庁長官官房審議官、加藤警察庁長官官房審議官、遠藤金融庁監督局長、川口消費者庁次長、角田復興庁統括官付審議官、武田総務省大臣官房総括審議官、和田法務省入国管理局長、宮川外務省大臣官房国際文化交流審議官、相星外務省領事局長、大鹿財務省主計局次長、岸本財務省関税局審議官、宮田文化庁長官、中岡文化庁次長、宇都宮厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官、荒川農林水産省農村振興局長、藤木経済産業省商務・サービス審議官、由木国土交通省総合政策局長、石川国土交通省道路局長、藤井国土交通省鉄道局長、奥田国土交通省自動車局長、蒲生国土交通省海事局長、菊地国土交通省港湾局長、蝦名国土交通省航空局長、亀澤環境省自然環境局長、槌道防衛省大臣官房審議官、田村観光庁長官

（有識者・敬称略）

デービッド・アトキンソン（株式会社小西美術工藝社代表取締役社長）、前田幸夫（凸版印刷株式会社専務取締役）

4. 議題：・観光ビジョンに掲げた施策のより一層の推進に向けた有識者からのヒアリング等
・国際観光旅客税（仮称）の使途に係る考え方について

5. 議事概要

○「明日の日本を支える観光ビジョン」に掲げた施策のより一層の推進に向け、観光庁より旅行動態の変化の状況について（資料2）説明。

○アトキンソン氏より、世界水準の旅客サービスの実現について（資料3）、資料に基づきプレゼン。

○観光庁より、諸外国の先進的な旅客サービスの例（資料非公表）について説明。

○前田氏（資料非公表）より、観光資源の高度化に向けた VR の活用についてプレゼン。

○観光庁より国際観光旅客税（仮称）の使途に係る考え方について（案）（資料非公表）を説明。

○意見交換において、有識者より以下のご発言あり。

【デービッド・アトキンソン氏】

- ・文化財の多言語解説の充実を図るべき。
- ・文化財の観光活用を促進するため、文化財保護の事務を知事部局が担当できるようにすべき。
- ・国立公園における多言語対応をはじめ、ビジターセンターのインバウンド対応が重要である。国立公園の満足度向上の取組を更に進めるべき。
- ・DMO の運営には、旅行会社や交通機関だけでなく、宿泊事業者等多様な主体が関与すべき。データ収集でなく現場の整備にお金を使うべき。

○梶山地方創生担当大臣、石井国土交通大臣、菅内閣官房長官よりご発言。主な内容は以下のとおり。

【梶山地方創生担当大臣】

- ・観光による地方創生の推進のためには、地域の個性を活かした魅力ある観光地域づくりを進め、特定の地域に集中している国内外の旅行者を全国各地に分散・拡大させていく必要がある。
- ・その中でも、本日のタスクフォースで有識者の方からご説明のあった、受入環境整備の推進や「楽しい国日本」の実現に向けた新たな観光資源の開拓等は重要な取組であると認識している。
- ・地方創生を担当する大臣として、こうした取組を、地方創生推進交付金等により積極的に支援し、年末に改訂を予定している「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけるなど、情報、人材、財政の「地方創生版・三本の矢」でしっかりと支援してまいりたい。

【石井国土交通大臣】

- ・本日いただいたご意見も踏まえつつ、今後、国土交通省としても、無料 Wi-Fi をはじめとする世界水準の交通機関におけるサービスの実現、「楽しい国日本」の実現に向けた観光資源の掘り起こしや磨き上げ等に官民一体となって取り組んでまいりたい。
- ・また、今後創設予定の国際観光旅客税の使途については、国土交通省においても、高次元の観光政策の速やかな実現を図るべく、法律案の検討を進めてまいる所存。
- ・各府省庁におかれても、本日いただいたご意見を踏まえ、「観光ビジョン」に掲げられた施策を深度化・加速化していただけるようお願いしたい。

【菅内閣官房長官】

- ・安倍内閣としては観光を地方創生の切り札、そして成長戦略の柱として位置づけて、全力で取り組んでいる。結果として本年の訪日外国人観光客は2,800万人を大幅に超える勢いである。2020年4,000万人の目標達成に向けて、この勢いをさらに加速していくために、観光ビジョンに掲げられた施策を今より一段も二段も高い次元で、一気呵成に行っていく必要がある。
- ・本日、お二人の有識者からご提言のあった、世界水準の旅客サービスとVRの活用については、高次元の観光施策として喫緊の課題であり、ご提言の内容を一つ一つ担当省庁がきちんと検討し、取り組んでいただきたい。
- ・また、国際観光旅客税の使途についても、単なる予算の埋め合わせとするのではなく、これまでにない画期的な取り組みを実行し、税を負担する皆さんから見て、この国の観光が目に見えて変わったと納得できるような施策・事業を展開していく必要がある。ぜひ、この観光タスクフォースで有識者の目をしっかり入れて検証していきたい。
- ・観光先進国を目指すという総理の施政方針演説を実現するために、常に先手を打っていくという姿勢でこの観光政策を進めていく必要がある。各府省にも一段のご努力をお願いしたい。

○水嶋内閣官房内閣審議官より閉会

- ・本日の第16回会合はここで閉会する。なお、次回日程は追って連絡する。

以 上